



千歳市立祝梅小学校 学校だより みんなで高める やる気と自信

祝梅

令和元年10月31日発行

第8号

『すくすく のびのび』

みとめ合い まなび合い たかめ合い きたえ合う 祝梅っ子



学芸発表会を終えて

文化部 依馬 まみ子

第44回学芸発表会が、10月26日(土)に開催されました。当日は、お忙しい中、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。

今年の学芸発表会のテーマは、「all in one (オールインワン) ~心をついに~」でした。テーマのもと、どの演目もよりよい発表にしようという力を合わせて練習に取り組んできました。子どもたちが自分の役割をしっかりと果たし、学年ごとに「真剣に」「全力で」を合い言葉に練習を重ねてきました。ご覧になった皆様にも、そうした思いが伝わったのではないのでしょうか。

また、学年みんなで演目を作り上げる中で、心をひとつにして発表することができました。「頑張った!」「やり切った!」という達成感を得たことで、子ども達はまたひとつ成長したように思います。

この日のために声掛けや衣装準備等ご協力いただいたご家庭の皆様、本当にありがとうございました。

1年生 みしのたくかにと



2年生 カラフルパレット



3年生 のらねこストーリー



4年生 みんなで楽しく
ディズニーワールド



5年生 SHINE (シャイン) 52



あさがお学級

Rock You! ~心ゆさぶる音楽



6年生 わたしたちの街



4年生以上の児童は、実行委員としての役割を果たしました。総務、会場、装飾、用具、放送、照明、児童係に分かれ、準備から当日運営まで一生懸命取り組みました。

今月のことば「新たに スタート！」

心をこめて「あゆみ」の配付



新旧リーダーの頑張りに拍手とエール

前期終業式では担任の先生から、半年間に伸びたところや成果を確認され、後期へのさらなる励ましとともに「あゆみ」が配付されました。ご家庭でもあたたかい励ましをいただきましたこと、感謝申し上げます。

後期始業式では、学校長から「言葉を磨いていこう」と全校児童にメッセージが伝えられました。教科の学習も、仲間との日々の生活も、体や心を鍛える学校外での時間も、磨かれた言葉があればさらにその学びは豊かになっていきます。

始業式後には、前期のがんばりをたたえ、後期のさらなる誓いをした認証式も立派に行うことができ、児童会役員も代替わりとなりました。いよいよ「じっくりステージ」がスタートです。さまざまな場面で言葉を磨き、成長を実感できる時間を学校と家庭がひとつとなって作っていきましょう。

2年生の学び サケ採卵集会

ふるさどを見つめ、生命の尊重、思いやりの心を育てる



本校では、平成5年から「サケ飼育活動」に取り組んでいます。平成から令和へ時代が変わった今も脈々と続いている大事な学習活動です。

サケのふるさと千歳水族館のお力を借りながら、10/1（火）2年生がサケ採卵集会に参加しました。サケの一生や、命の大切さ等を講義いただき、グループに分かれての「採卵・受精」も体験しました。現在は1階ホールに運ばれた受精卵を2年生と環境委員が毎日「観察飼育」しています。「少しずつ色が変わってきました」「これからが楽しみです」と観察ノートに記されています。

今後、祝梅で生まれ育った祝梅っ子の稚魚は、2月に千歳川に放流され、4年後の帰りを待つことになります。サケを通して、命の尊さ、自然の恵みのありがたさ、自然と人間の共存、ふるさと千歳など、学びは広がります。4年前に放流され帰ってきたサケを題材に、次は6年生でサケトバづくりの体験学習を実施する予定です。

9/24、3年生は「千歳水族館」や「空港」「工場」などを見学。9/27、4年生は「北海道博物館」「開拓の村」を見学。千歳や北海道を見つめ直し、再発見と新発見の時間を得ることができました。地域に学び、視野広く物事をとらえることをこれからも大切にします。

社会見学に行きました



3年



4年

学びの秋が スタート



先生方の研究会で 3・4年生が学びを披露

10/18(金)石狩管内の先生方がたくさん見守る中、3年1組で「理科」、4年1組で「総合的な学習の時間」の授業が実施されました。重さを予想したり、使用されている食品を予想したり、友達と学び合いながらわくわくするような新発見を重ねていた児童たち。管内の先生方からは「たくさんの方が見守っている中、にこにこして動揺せず学んでいた姿が印象的」「よく手が挙がって積極的」と、お褒めの言葉をいただきました。この日の登校準備など、ご家庭の応援をいただき、児童は充実の学びの時間をまた一つ積み重ねることができました。

背筋ピン!



腕がまっすぐ



きらきらの瞳

児童が「前のめりになる」授業づくりにスタッフ一同、取り組んでいます。左は授業を公開したこの日の写真です。児童の頑張りが伝わります。「やってみたい!」「なるほど、そうか!」「わかった、できた!」の達成感や喜びを味わわせるよう、これからも頑張ります。

自学ノートを 2秒チェック!

ご家庭にお願いがあります。

児童が毎日コツコツ頑張っている「自学」のノート。計算や漢字、その日に学習したことの復習等、コツコツ学習している成果を、サインや小さなコメント等で励ましていただけると、児童もきっと励みになると感じます。題して「2秒チェック」。チラッと見て、サインして、「明日も頑張れ」と背中を押す。ご家庭のルーティンとして取り入れてくださいますようお願いいたします。



青葉中の文化祭で取り組んでいる学級合唱。その練習の様子を校区の小学生にも公開し、お互いに刺激を受けあつて、次のステップへ踏み出そうという願いをこめて始まった合唱見学会。

今年度は文化祭練習最終日に六年生が参加しました。中学生は本番に向けて気持ちと技術が整い、圧倒的な歌声を届けてくれました。体育館で複数の学級合唱を耳にした児童たちからは「すごい!」「自分たちも来年度は頑張りたい」との声が聞こえ、半年後に迫った新生活スタートに向けて、思いを新たにした様子です。

小中連携の取り組みを今後もコツコツ実施します。青葉っ子スタンダードの実現に向け、三校一緒に児童の九年間を見つめていきます。

青葉っ子スタンダード



6年生 青葉中合唱練習を見学

☆じっくり 11月☆

学芸発表会が終わり、学習や行事にじっくり取り組み、これまで培ってきた力をさらに伸ばす11月となります。じっくりステージでは「言葉を操る力」をさらに高め、読書活動や他の教科の学び、他者との生活にも役立てるようにしていきます。

11月の行事予定

日	曜	行 事
1	金	ALT 読書月間(~30) 福祉体験学習(5年)
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	福祉体験学習(6年) 口座再振替日 心の教育相談
6	水	ハイパーQU 実施日 フツ化物洗口
7	木	参観日(低) 心の教育相談
8	金	ALT スクールカウンセラー(午前)
9	土	
10	日	
11	月	委員会② 代表委員会 進んで筆箱の中身をとのえる大作戦(~15日)
12	火	参観日(高・あ) 心の教育相談
13	水	フツ化物洗口なし
14	木	福祉体験学習(3年) 心の教育相談 第56回小学校音楽発表会(4年参加)
15	金	午前授業 ALT
16	土	
17	日	
18	月	自然体験学習(6年・サケトバ) 進んで読書大作戦(~22) P)ふれあい指導
19	火	青葉中職場体験学習① 心の教育相談
20	水	青葉中職場体験学習② いきいき交流② フツ化物洗口 弁当持参日
21	木	福祉体験学習(4年)
22	金	ALT スクールカウンセラー(午後)
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	委員会③ 口座振替日
26	火	交流学习(あさがお&4年) あいさつ週間(~29) 進んであいさつ大作戦(~29) 心の教育相談
27	水	フツ化物洗口
28	木	5時間授業 個人懇談①
29	金	5時間授業 個人懇談② ALT 屋清掃 市内教育作品展(~12/10)
30	土	いじめシンポジウム

11月は読書月間です。読書の仕方、図書
の森(図書室)の活用を通し、読書の推進に
努めています。今年度は、「先生方のおすす
め本コーナー」を設置し紹介します。

また、「進んで読書大作戦」の1週間は全
校で朝読書に取り組みます。

11月 変更点にご注意ください

年度当初配付したスクールカレンダーから、以下の点を変更しています。ご確認ください。

<変更後>

11月13日(水) 給食あり

11月20日(水) 弁当持参日・いきいき交流②

勤務時間外の電話対応について

本日付で千歳市教育委員会よりお知らせ文書を配付
しております。11月5日(火)より、午後6時~翌課
業日午前7時30分まで留守番電話の設定となります。
児童への効果的な教育活動を行うための改革の一環と
して、ご理解ご協力をお願いします。

10月の終わり。職員室から…

日本の物語の祖「竹取物語」。竹の中から生まれるかわいらしい女の子は3ヶ月であつという間に成長。満月のある夜、月の都からの使者とともに地球を離れるというお話。童話「かぐや姫」、アニメ映画「かぐや姫の物語」でもご存知の方が多いでしょう。/先日、祝梅小は節目である前期を終え、後期に突入しました。「節目」の「節」は竹の幹から由来します。多い時には日に1m近く伸びるといふ竹。それほどの成長をしながらまっすぐしなやかに伸びてゆくのは「節」があるからなのだそう。ぐんぐんのびる竹も一時期、成長がゆっくりに見える時期があります。それは、「節」の部分をつくっているとき。まさに「節目」。節目があるからこそ竹も人も、ぐんぐんと天に向かって伸びやかに育っていくのです。/4月からここまで、毎日見ている子どもの成長に、はがゆさや不安の思いをもつことがあるでしょうか。長い目で、広い視野で俯瞰すると、次なるパワーをためている大事な「節」を作っている時期だったのかもしれない。「節」を作るための不断の努力の必要性は言わずもがなですが、いつか来る成長の日のために、小学校の6年間はあるのだと感じます。/毎日、一生懸命に学ぶ児童たち。毎日、児童に向き合い準備を重ねるスタッフ。保護者と地域の熱い応援。たくさんの栄養をいただき、児童は次の「節目」に向けてまた一歩、前進します。11月も引き続きご声援ください。